

美豆小学校の道しるべ

令和元年10月25日
京都市立美豆小学校
校長 高嶋 登
第16号

ステップアップシートを返却しました

夏休み明けに4年生以上の児童が受験した「(プレ)ジョイントプログラム確認テスト」の結果を本日返却しました。1学期の学習に加えて、昨年度までの学習内容も出題範囲となっていた今回の確認テストの結果から、お子達の頑張りや、もう少し頑張りが必要なところなどが分かりやすくステップアップシートに示されています。

お子たちが受けた確認テストの結果をご覧いただき、「今できていること」「もう少し頑張りが必要なこと」などを話し合っていただき、これから家庭学習に活かしていくだけるよう、お声掛けいただきますようお願いします。

下の図で、保護者の方に注目していただきたい部分を☆で示しています。☆の数が多い部分から順にご覧ください。

国語科の問題の内容に対して、正答数と正答率が示されています。また、枠内の左右には京都市の該当学年の平均正答率が示されています。

お子達の合計点数や京都市の平均と比べることに目が行きがちですが、内容にもご注目いただき、漢字の読み書きや、文章の読解、文章を書くなど、どの内容に頑張りが必要かについてもご覧ください。

「がんばりグラフ」は保護者の方に一番見ていただきたいところです。3年生で受験した確認テストの結果を基準値としてテストの結果を折れ線グラフにて表しています。

今回の確認テストの結果を見るよりも、お子達の折れ線グラフが右に上がっていればお子達をしっかりと褒めてあげてください。

また、前回よりも折れ線グラフが下がっていたら、お子達と一緒に家庭学習のルールを決めていただくなど家庭学習が習慣化するようなお声掛けをしてください。特に、国語科や算数科の苦手としているところを一緒にご覧いただければお子達の励みになるかと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

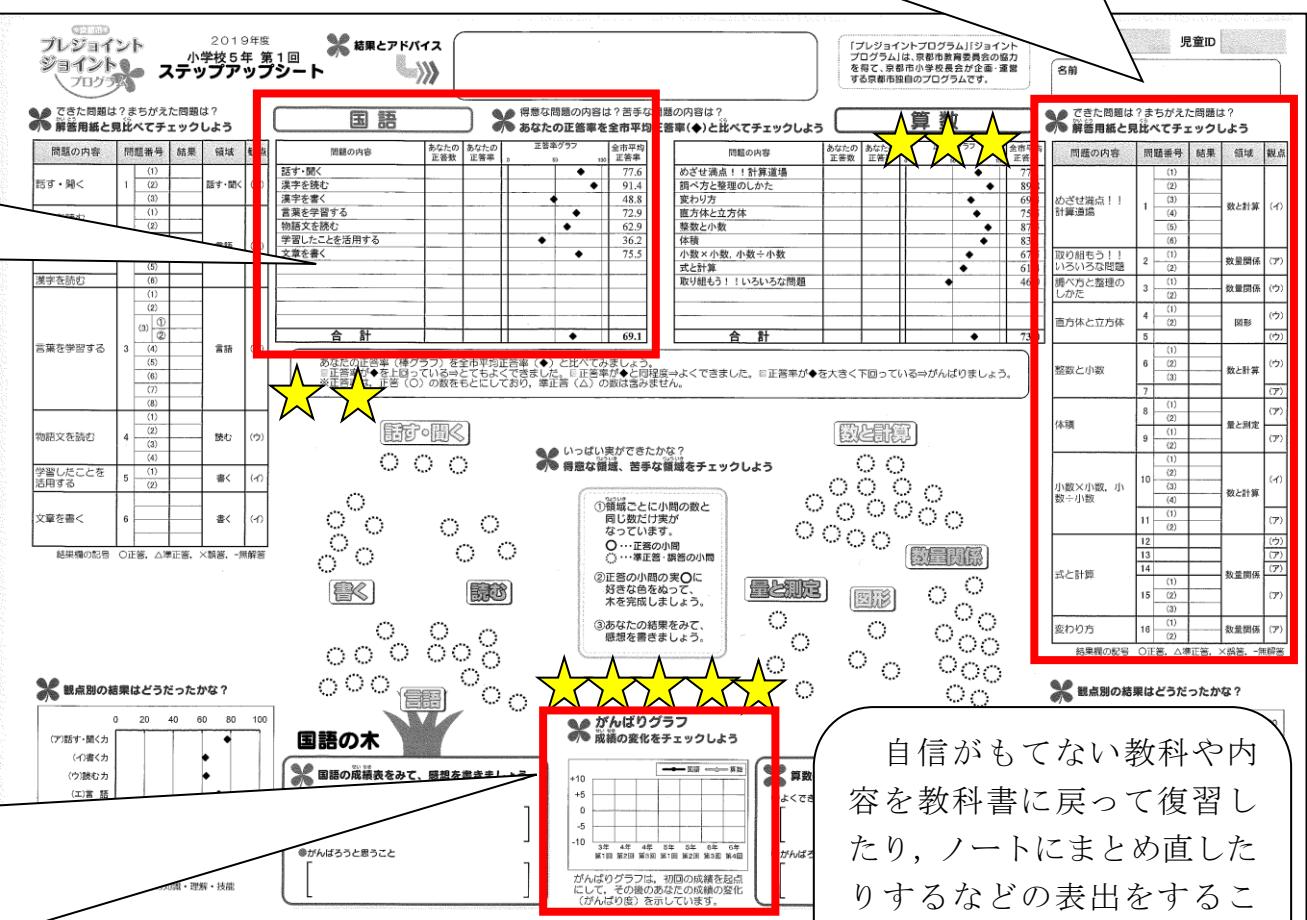
3学期の初めにも確認テストを受験します。その時には「頑張りグラフをこうしよう！」と具体的な目標をご家庭で決めていただくのもいいかと思います。

問題の種類ごとに正解できたか否かが、○×の記号で示されています。×がついている箇所の内容にご注目いただき、家庭学習で取組んでいただくというのもよいのではないでしょうか。

例えば、今回の確認テストの返却と同時に持ち帰る「正解と考え方」という冊子を照らし合わせながら、間違えた問題をもう一度解くことも大変意味のある学習になります。

さらに、今回は前学年の学習内容も出題範囲に含まれていますので、今の学年の学習内容でつまずいているのか、1つ前の学年の学習内容でつまずいているのがよく分かります。前までの学年の教科書や1学期に使っていた教科書を見ながら、どのような学習だったのかを再確認するというのも『力のつく学習』となります。

どの教科も今までの積み上げが大切となってきますので、「できていること」「少し頑張りが必要なこと」を確認していただき、さかのぼって学習することで次の学習へつなげていくことができるのではないかでしょうか。



自信がもてない教科や内容を教科書に戻って復習したり、ノートにまとめ直したりするなどの表出をすることで定着につなげていきましょう！